

プラザからのお知らせ～地域の情報をお探しの方、すぎなみ協働プラザをご活用ください!～

すぎなみ地域大学&すぎなみ大人塾 共同開催 学びと参加のシンポジウム2018

まちの元気を循環させるビタミン会議



# まちビタ会議

in 西荻 2018

- ◆日時:平成30年10月21日(日)13:30～16:30
- ◆会場:西荻地域区民センター第3・4集会所
- ◆内容:ゲストトーク、グループワーク(終了後に交流会有り)
- ◆対象:杉並区内をフィールドに活動をしている方、またこれから活動しようとしている方
- ◆定員:50名(先着順、定員に達し次第締め切り)
- ◆参加費:無料
- ◆申込み:9月3日より電話orメールで地域課(すぎなみ地域大学担当)へ
- ◆TEL:03-3312-2381
- ◆E-mail:tiikidaigaku-t@city.suginami.lg.jp

地域で活動をしている人が、まちの専門職や世代を超えた仲間と出会い、ワクワクとともに明日の何かを産み出す参加型の会議を開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。

- 【ゲスト】
- ・伴 裕和さん(西荻地域区民センター 協議会事務局)
  - ・中島 篤さん(生活支援コーディネーター)
  - ・会場にお集まりいただいた皆さん
- 【企画・実施】まちビタ実行委員会

## 開催報告① NPO交流会

### 「子育て支援」交流会を開催

子育て支援といっても、子どもの預かり、虐待防止、発達障害支援、アレルギーなど分野は様々。団体や活動したい個人、合わせて24名が車座になって交流しました。

同じ分野でもたくさんの課題と活動があること、繋がることで新しいネットワークが広がることを共有できたようです。2時間の交流会が終わった後も、参加者は名刺交換したり、懇談したりしていました。

今回の交流会はテーマを変えて9月に開催予定です。



## 開催報告② 地域活動講座

### 「伝わるチラシ」づくりで実践講座

今年度第1回の地域活動講座は「伝えたい人に伝わるチラシをつくる」をテーマに7月に2週連続で開催されました。講師は杉並区広報専門監の谷浩明氏。「伝わるチラシ」を作るコツは、「誰に向け、何を伝えるか」をしっかりと認識すること。参加者が作ったチラシを講師が添削する2週目は、すぐに役立つ実践的講座でした。



## NPO法人を運営する全てのみなさんへ

### ～改正NPO法対応・定款変更はお済みですか?～

改正NPO法が今年10月1日全面施行されます。これにより、毎年必要だった「資産総額の変更登記」が不要になる代わりに、「貸借対照表の公告」が義務化されます。

法人の事務負担軽減を狙ったものなので、みなさん、定款をご確認ください!現在の定款で公告の方法を「官報に掲載」と定めてありませんか?そのままだと、毎年度有料で官報に掲載しなければならず、相当の費用負担が生じます。このため、定款変更をおすすめしています。

詳しくは、協働プラザにお問い合わせいただくか、東京都または内閣府のNPOに関するウェブサイトをご覧ください。

## すぎなみ協働プラザ

<http://www.sugi-chiiki.com/nposupport>

〒166-0004 阿佐谷南1-47-17 阿佐谷地域区民センター4階

TEL:03-3314-7260 FAX:03-3314-7265

E-mail:info@nposupport.jp

「すぎなみ協働プラザ」は、杉並区からの事業委託により「NPO法人CBすぎなみプラス」が運営しています。

## リレーコラム 茶もっこ

「茶もっこ」とは? 新潟県・松代地方の言葉で、通りすがりの人でも軒先に招き、もてなすお茶の意味。

### フィルター掃除

最近、仕事のためにもと写真を勉強し始めました。「月に1500枚も撮れば徐々に腕が上がるもの」とかで、撮って撮って、講師に見せています。「この写真は論外ですね」などと評されると結構凹みます。自分が伝えたかったことがまるっきり相手に伝わらないのは、本気で悔しいし恥ずかしいです。でも同時に、世界が一気にぶわっと広がって見える瞬間でもあります。自分の見方にも偏りがあるとわかってほっとするというか。

プラザには毎日、本当に色々な相談がきます。写真を介した体験は、目の前のことを簡単に知った気になってしまふ傲慢さに水をぶっかけてくれます。(小野寺)



# CAMP

キャンプのように、できる人ができることをしよう。

Vol.14

2018年08月発行



## 特集:NPO活動助成、7事業に決定

### 掲載団体

- ・荻窪家族プロジェクト「百人力サロン」
- ・竹箒の会(アートカード&コミュニティ研究会)
- ・ストレス対処法研究所
- ・てんぐるま
- ・ワーカーズコープ杉並地域福祉事業所 浜ココ
- ・むさしの児童文化協会
- ・サービスフロンティア すぎなみ昔話紙芝居一座「すかい」

## NPO活動助成、7事業に決定

### 平成30年度は7つの事業～NPO活動資金助成

杉並区でさまざまな活動に取り組んでいるNPOなどに資金を助成し、地域課題の解決を図る「杉並区NPO活動資金助成事業」(助成総額250万円)。平成30年度の助成対象は居場所づくり関係など7事業に決まりました。

活動の継続、自立を目指す設立5年未満の団体の「スタートアップ事業」が3つ、団体の活性化、事業発展、区や他団体との連携・協働を目指す団体の「ステップアップ事業」が4つです。

既に幾つかの事業は始まっています。関心がある事業を見学したり、参加したりしてみませんか。

杉並区は「杉並区NPO支援基金」を設置し、皆さんからの寄附と区の財源をもとに、NPO法人等が行う地域の公益的な活動に対して助成金を交付しています。



## ストレス対処法研究所

### 「生き方バージョンアップ事業～自己の可能性」



進路に悩んでいる若者や家族を亡くして会話が減った高齢者、職場の人間関係に悩んでいる会社員など精神的にストレスを感じている人。そうした人々を対象に朗読や歌、ダンス、演劇などの自己表現を通してストレスを軽減する方法を見出すグループ活動を行っています。その場は多世代が交流できる「居場所」でもあります。

スタッフには心理や就労を専門とするカウンセラーがいて、個別相談に応じるほか、グループ活動により自己の可能性を広げた社会復帰の手助けもしています。同研究所の加勇田修士理事長は「ストレスで疲れ気味の方、気軽にカウンセリングを受けたりグループ活動に参加したりしてみませんか」と話しています。

#### 【平成30年度の活動内容】

- ◆開催:20回(平日、土日祝日の昼間など月2ペース)
- ◆場所:ストレス対処法研究所、阿佐谷地域区民センター等
- ◆連絡:☎03-5335-7742 ◆メール:info@stress-inst.com

## 荻窪家族プロジェクト「百人力サロン」

### 子どもの居場所をつくる…「百人力でらこや」



地域の人たちが集って交流する荻窪家族レジデンス(荻窪4丁目)の「百人力サロン」。「百人力」にはお互いに助け合い、支え合いができる隣人関係を作ろうという想いが込められています。「百人力でらこや」事業は、子どもたちが地域の中で安心して勉強したり、遊んだりする「居場所」づくりが狙いです。「でらこや」には子どもたちに算数を教えたり、一緒に宿題をしたり、時に科学あそびをしたり、おしゃべりしたりするシニアのスタッフがいます。

友達になった子どもたちを通して親も知り合うことも期待され、同レジデンスのオーナー瑠璃川正子さんは「世代を超えた交流と地域コミュニティづくりにつなげたい」と話しています。

#### 【平成30年度の活動内容】

- ◆開催:毎月2～3回、木曜日の15:30～17:30
- ◆場所:荻窪家族レジデンスの集会所
- ◆連絡:☎050-3730-6872 ◆メール:ogikubokazoku@gmail.com

## ワーカーズコープ杉並地域福祉事業所 浜ココ

### 浜ココ地域なんでも解決プロジェクト



地域の交流スペース「浜ココ」は、これまで小学生の一時預かりをしたり、孤食や少人数での食事ではなく、みんなで一緒に食事をすることを目的とした「いっしょにごはん」を開催したりと、子どもを主な対象にした居場所運営を行ってきました。

そんな中、買い物途中に立ち寄り高齢者らの存在から、多世代交流の重要性に気づきました。そこで今年から、交流スペースで多世代が交流できるイベント「りんくる」を開催しているほか、困りごとの解決策を住民主体で考える、地域マップづくりプロジェクトも行います。

スタッフの方は「安心して集まれる地域コミュニティを作りたい。どなたでも気軽にいらしてください」と笑顔で話していました。

#### 【平成30年度の活動内容】

- ◆開催:地域の食卓会「いっしょにごはん」昼2回・夜2回、多世代交流イベント「りんくる」最大週5日(時間等は要問合せ)
- ◆場所:浜ココ(杉並区浜田山3-27-3)
- ◆連絡:☎03-6454-6835 ◆メール:hamadayamacoco@roukyou.gr.jp

## サービスフロンティアすぎなみ昔話紙芝居一座「すかい」

### 子ども目線で作る杉並昔話(33話の中から)紙芝居制作講座



紙芝居一座「すかい」は、「泣きべそ地蔵」(上荻)など杉並区内で昔から伝わる民話33話を紙芝居にして、高齢者施設や小学校、保育園などで口演しています。地域の昔話を区民に知ってもらい、地域文化を理解してもらおうという活動で、始めてから12年になります。

当初は高齢者施設での口演が多かったのが、最近は保育園や小学生の「観客」が増えた一方、口演者は5人ほどに減りました。そこで、紙芝居の絵や構成、セリフを子どもたち向けに仕立て直し、口演者の後継者を育成するため、今年度は「すかい紙芝居制作講座」を開催します。

一座の座長、那須克彦さんは「幼児向けにも紙芝居を口演できる『すかい第2世代』の人材を育成したい」と話しています。

#### 【平成30年度の活動内容】

- ◆講座:8回程度(紙芝居口演、紙芝居描きなど)
- ◆場所:すぎなみ協働プラザ・交流コーナー等
- ◆連絡:☎&Fax:03-5934-8258(那須) ◆メール:k.nasu@hotmail.co.jp

## 竹箒の会(アートカード&コミュニティ研究会)

### アートカードで健康長寿



世界の美術作品をカード(写真)にして鑑賞する「アートカード」。それを使ったゲームは子どもたちのコミュニケーションを促進するツールとしても効果があります。ゆうゆう館運営など高齢者のための事業を実施している竹箒の会は、このゲームを高齢者の健康増進や仲間づくりに活用しようと、ゲーム進行役の人材育成やゲーム体験会を行います。

ゲームはグループで会話をしながら進めますが、進行役のアートカード・コミュニケーターが欠かせません。助成事業ではその人材育成を行うと同時に、高齢者に「アートカード」ゲームを体験してもらい、コミュニケーション力の向上や仲間づくりへの効果を確認します。担当者は「気軽に参加して仲間、学び、健康長寿を手に入れませんか」と話しています。

#### 【平成30年度の活動内容】

- ◆開催:8月～アートカード・コミュニケーター(ボランティア)の募集・育成、2月頃～体験会の開催
- ◆場所:ゆうゆう高円寺南館(杉並区高円寺南4-44-11)
- ◆連絡:☎03-3304-8927 ◆メール:artcardcommunity@gmail.com

## てんぐるま

### すぎなみ「心のバリアフリー」プロジェクト



オリンピック・パラリンピックの開催に向け、「心のバリアフリー」の取り組みが各地で始まっています。障害児者の権利擁護活動と子どもの教育に関する活動を展開するてんぐるまでは、今年も啓発プログラムや相談会を行います。

杉並在住の脳性マヒ当事者をコーディネーターに迎え、重度心身障害児親の会「みかんぐみ」と協働し、重度障害児者の自立と成長・医療ケアの問題についての理解を深める講演会や、障害者による演奏とアートのイベント、障害児・者と家族の相談会を開催します。

担当の方は「障害児者とそのご家族はもちろん、幅広く区民の皆さんにご参加いただきたいと思います。ご来場お待ちしております」と呼び掛けています。

#### 【平成30年度の活動内容】

- ◆開催:9月17日(月・祝)13:30～17:00(開場13:00)
- ◆講演会『障害者だって、恋をする～それぞれの愛のかたち～』等
- ◆場所:阿佐谷地域区民センター 第4・5集会所
- ◆連絡:☎03-6868-4912 ◆メール:info@tenguruma.org

## むさしの児童文化協会

### おはなし語りと和の文化で地域をつなごう2018



この協会は、童話の語り聞かせを中心とする「むかしかたりの会」、「サンタクロースの会」、「ひだまりの会」に加えて「南京玉簾・野草庵」、「江戸千家・やよい会」、「腹話術・豆大福の会」から成り、童話や和の文化を語り継ぐ活動などによる、世代を超えた触れ合いや、ぬくもりのある地域づくりに取り組んでいます。

法人の設立から5年が経って、活動を行う会員が80人ほどに増え、小学校の保護者会やゆうゆう館、ぎずなサロンからイベント開催の依頼が来るなど活動が広がっているそうです。

助成事業では、幼稚園やゆうゆう館で「和の文化」や「児童文化」を伝えるワークショップなどを行います。事務局長の橋爪さんは、「これまで育んできた伝統文化継承の幅をさらに広げていきたい」と話していました。

#### 【平成30年度の活動内容】

- ◆開催:『和の文化・児童文化ワークショップ&講習会』(適宜)等
- ◆場所:桜の実幼稚園、リーベスト松庵、ゆうゆう大宮前館等
- ◆連絡:☎03-5930-1422 ◆メール:hk-patora@com.home.ne.jp